

『ジェットコースターみたい!』 5歳児 4月 伏見こども園



スピードが
違うよ

エピソード

トイを使ったコースづくりを楽しんでいます。トイを繋げていく中で、途中で転がしたボールが止まってしまうと「高さが足りないからや」とビールケースやゲームボックスを重ね、傾斜が急になるように考えていました。

いくつかのボールを繰り返し転がすうちに、「小さい方が速い」「大きいとゆっくりや」と、それぞれの転がるスピードの違いに気がきました。直径6cm程度のカラーボールがゆっくりと転がっているところへスーパーボールを転がすと、スーパーボールが勢いよく転がり、カラーボールに当たると、押されたカラーボールがさっきよりも速く転がり出しました。「スーパーボールが押した!」「もう一回やってみよう」と、また同じように転がしてみました。スーパーボールがカラーボールを押してスピードが出る様子に「速くなってジェットコースターみたい!」と喜んでいました。遊びの振り返りでは「大きいボールはトイに当たるから遅くなるのかも」「もっと高くしたら大きいのも速くなるんじゃない?」と感じたことや気付いたことを出し合っていました。

保育者の思い

- ・トイの傾斜を自分たちなりに考えて試してほしいと思い、見守っていました。
- ・ボールの種類によって転がるスピードが違うことに気付いた子ども達が、次にどんなことに気付き、転がし方に変化は出るのか、子ども達のつぶやきを聞き逃さないようにしました。
- ・スーパーボールとカラーボールの転がす順番によって、ボールの転がり方が変化したことを、何度も試し、楽しんでほしいと思いました。
- ・スピードや転がり方の違いを自分なりに感じたことや考えたことを話したり、友達の考えを聞いたりして、次の遊びにつながってほしいと考え、振り返りの時間を大切にしています。

子どもの育ちや学び

- ・ボールが転がるためには傾斜が必要であるとわかり、傾斜が急になるように高さを調節していました。
- ・ボールの種類、大きさによって転がり方のスピードが違うことに気付き、繰り返し試すことにつながりました。
- ・転がり方が違うのはなぜか、自分なりに考えたり、感じたことを言葉にしたりして表現しようとする姿が見られました。

家庭だったら・・・

- ・大人が当たり前に感じていることも、子ども達は遊びや生活の中で、気付いていきます。子どもなりに「どうしてだろう」「こうだからかな」と考えていることがたくさんあるので、耳を傾けて一緒に考えてみてください。